



RI 2600 地区諏訪グループ

諏訪湖ロータリークラブ

会長/高山 巖 幹事/小口 直久

例会木曜日 PM12:30 ぎん月 事務所 〒393-0031長野県諏訪郡下諏訪町御田町31566-1すてっぷカサイ内 TEL/0266-27-8455

<http://www.suwakorc.net>

Email: suwakorc@suwakorc.net



初夏の花
小林会員

第1555回例会報告

平成30年 6月14日 (木) 晴れ

会長挨拶

会長 高山 巖



今日は職業奉仕委員会担当例会に合わせて、My ROTARYについて考えてみました。ロータリーは、基本理念、それに基づく戦略計画等から構成されております。

1) ロータリーの目的// 意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある…としています。具体的には

①知り合いを広めるとによって奉仕の機会とすること;

②職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会として、また事業および社会生

活において、日々、奉仕の理念を実践すること;

③ロータリアンひとりひとりが個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること;

④奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること;

2) 四つのテスト// 我々ロータリアンが生活や仕事の場面で常に覚えておく問いであり、言行は全てこれに照らしてから行います…

①真実かどうか; ②みんなに公平か; ③好意と友情を深めるか;

④みんなのためになるかどうか;

3) 五大奉仕部門// クラブ活動の土台となる5つの奉仕部門を通じて日々、地域社会や海外での奉仕に力を注いでいます。

①クラブ奉仕 ②職業奉仕 ③社会奉仕 ④国際奉仕 ⑤青少年奉仕

4) ロータリーの公式標語// 第1標語〔超我の奉仕〕第2標語〔もっとも良く奉仕する者、最も多く報いられる〕とあります。

5) ロータリアンの行動規範// 1. 個人として又事業において、高潔

☆幹事報告

【報告事項】

1: 2600地区役員として「長崎政直」会員がロータリー財団法人会グローバル補助金推進小委員会委員に委嘱されました。後ほど委嘱状を会長から伝達します。

【連絡事項】

1: 美しい環境づくり諏訪地域推進会議より、総会資料、パートナーシップ便りなどが到着しました。回覧します。また会費納入依頼も来ました。

会費納入に関しては本年度分か次年度分小松会計と相談します

2: 諏訪地域献血促進会議から総会資料が届きました。

3: アダプトプログラムに関する連絡先、行事計画など調査資料が来ました。次年度へお渡しします

4: 湖浄蓮の会費納入依頼が来ました。小松会計にお渡しします。

5: ロータリーの友に記載の文書の原稿が来ました。社会奉仕委員会にお渡しして構成していただきます。

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のことば
会員数	38人	6名	13,000円	
出席対象	38人	累計	453,000円	
出席者数	27人	目標額	60万円	
出席率	71.0%	達成率	75.5%	
前回修正	76.3%			

♪今週のことば～続き～



2017-2018年度 国際ロータリーテーマ

ロータリー：変化をもたらす

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ウィークリーの原稿送付先: pr@suwakorc.net

☆幹事報告

【受領文書】

- 1:ハイライトよねやま219号が届きました。
- 2:コーディネーターニュース7月号が届きました。



今月結婚記念のお二人

～会長挨拶 続き～

さと高い倫理基準をもって行動する。2.取引の全てにおいて公正に務め、相手とその職業に対して尊重の念を持って接する。

3.自分の職業スキルを生かして、若い人々を導き、特別なニーズを抱える人々の生活の質を高める。4.ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。あたかも私が一生懸命勉強したような言い回しですが、クラブ計画書の当初ページに記されております。

結論として、自身の職業に全力で取り組み、適正な報酬を得て、顧客の満足度を向上させ、できうる限りの慈善活動と寄付を行うことがロータリアンになった者の義務であろうと考えます。



新会員卓話 片倉会員



新会員卓話報告

「ロータリークラブに入会して」

有限会社日本亭の片倉久尚と申します。本日は貴重な時間の中、新入会員に卓話の機会をいただきまして誠にありがとうございます。改めまして、自己紹介と仕事内容について報告させていただきます。

私は、1977年(昭和52年)2月生まれ、岡谷市川岸で育ちました。幼少期からスイミングやボーイスカウト活動をしており、特にキャンプや登山の経験は楽しい思い出の一つです。また、ピアノを少し習っていた影響で、中高生時代にバンドにはまり音楽のことばかりで学業は底辺をキープしていました。これが生じて進学は音楽の専門学校を選択し、2年間上京させていただきました。その後、丁稚奉公で酒販店の勉強をする予定でしたが、父が病で倒れ急遽帰省し現在に至ります。ちなみに父はバリバリ元気です。近年では、諏訪圏青年会議所(JC)で理事の経験をさせていただきました。委員長と副理事長の職務に携わる機会がありまして、主にまちづくりの担当をいたしました。4年間のJC活動ではありましたが非常に多くの学びがありました。

次に仕事についてですが、日本亭という名称は「飲食店ですか」とよく言われます。客観的にみれば確かに私も感じます。はっきりしたことは分からないのですが、明治時代の川岸で片倉製糸が栄えていた頃に旅籠のようなことをしていたと聞いています。酒販店の始まりは、大正時代の初期に酒類販売免許の許可が交付されており、会社成立は昭和40年5月で現在53期目になっています。主な事業内容は、ホテル・料飲店・ナイトクラブへ酒類を卸させていただいております。

簡単ではありますが結びに、私にはまだまだ学ぶべきことが沢山あります。ロータリークラブに入会して奉仕と共に研鑽を積んで行きたいと思っております。よろしく願いいたします。



税理士と職業奉仕 職業奉仕委員長 宮澤孝良

本日は①職業奉仕とは何か ②税理士としての職業 ③これからの税理士
④職業奉仕の実践 について、お話しさせていただきます。

職業奉仕とは、ロータリーの根幹であり、その理論と実践を伴っているのは唯一このロータリークラブです。

① 職業奉仕とは何か？

ロータリーの出発点は、「会員同士の事業上の孝||益の向上」と「親睦の充実」でしたが、やがて改革によってロータリークラブの永続性一発展の為には、会員以外の人たちが幸せになるような事をすることが奉仕であるとされ、これが奉仕の理念に繋がってきます。

職業奉仕を「職業」と「奉仕」に分解してみます。

私たちは自分の「職業」により、本来自分の企業が利益を生むために活動しております。

「奉仕」は社会全体、自分以外の世の為人の為に尽くすための活動であります。本来、この2つは正反対のようですが、ロータリーの根幹である職業奉仕は「職業を営むこと」と「奉仕」とは同じ一つの心であるということではないでしょうか。ただし、ここには必ず「倫理」というものが存在しなければいけません。自己の職業の品位と道德水準を高め、社会から尊重される存在にならなければならないと感じております。奉仕の心を持って行った活動は、信用と信頼を得てやがて自己の利益として、更に大きいものとして回ってくるのではないのでしょうか。これが、「最も多く奉仕する者、最も多く報われる」という事だと思えます。

② 税理士としての職業

税理士の使命として、税理士法 第一条に税理士は

1. 税務に関する専門家として
2. 独立した公正な立場において
3. 申告納税制度の理念にそって
4. 納税義務者の信頼にこたえ
5. (税法に従った) 納税義務の適正な実現を図ることを使命とする

とあります、つまり ・身近にいつでも相談できる暮らしのパートナーとして、

・職務上知り得た秘密を守り ・公平な税負担により時代に適合した透明な税務行政が行われるよう国への働きかけをし ・税の専門家として納税者自らが所得を計算し、納税額を算出する申告納税制度の推進の役割を担います。また 税理士の独占業務として納税者を代理して確定申告、青色申告の承認申請、税務調査の立会いなどを行う税務代理や、税務書類の作成、税務相談などを行っております。さらに、知識や経験を活かしての社会貢献の一環として・租税教育(税についての正しい知識と理解を深めるために、将来を担う子供たちに対して租税教育に積極的に取り組んでいます。ちなみに、諏訪支部では、29年度においては小学校10校533名中学校4校427名高校1校3名行い私もその内、2校121名を担当させて頂きました。

・無料税務相談

毎年、確定申告期において小規模事業者等に対し、無料申告相談を税理士が各市町村・商工会議所に出向いて行っております。

・税制を国へ提言

税制及び税務行政の改善に寄与するため、国に対し「税制改正建議書」提出しています。こがいわゆる職業奉仕としての活動かと感じております。

③ これからの税理士

最近注目されているのが、AI (人工知能) です。ある週刊誌によれば、2030年以降は人間と同じように仕事をこなす汎用型AIが生まれて将来的に人間の仕事の8割が消滅し、残るのは2割とも、某大学経済学部准教授が未来予想図を語っております。たとえば、税理士の場合、納税者はパソコンのボタン1つで納税額が計算出来たり、大手監査法人のエリート会計士が見抜けなかった東芝の不正会計問題にしても「AI会計士」であれば見抜けるそうです。では、そんなAIの到来する時代に向かって、税理士に将来性はあるのでしょうか。たぶん与えられた仕事をこなすだけの税理士はこれからは難しいかもしれません。企業をより良い方向に導く姿勢を追求する事を、経営者とともにきめ細かく考えていく、そんな事が重要だと考えております。現在の中小企業の黒字申告割合は30%です。70%が赤字企業の時代である今、重要なのは、もはや節税対策ではなく、企業を黒字体質に持っていくため、経営者の方自身に会計から会社を強くするための判断力をつけられるようなアドバイスをさせていただきます。ロボットに出来ない仕事、それは顧客にマッチしたニーズに細かく提案する事だと思えます。

④ 職業奉仕の実践

これからの時代、ますます必要とされることは、奉仕の実践ではないかと思えます。奉仕の実践とは例会において、会員一人一人の卓話をお聞きして職業倫理を学びあう事だと思えます。異業種の職業人同士の体験から得た知識とか知恵などをお聞きし、職業倫理1理を学びあう。それによってロータリアン同士のつながりがさらに深まり、自分自身が磨かれていくと思えます。